

◆団体基本情報

No.	6	種別	公益財団法人	団体名	公益財団法人仙台市健康福祉事業団		
所在地	〒980-0013 仙台市青葉区花京院1丁目3-2						
電話番号	022-215-3192		FAX番号	022-215-4140		所管 部局	健康福祉局 高齢企画課
団体ホームページ	https://www.senkenhuku.com/						
代表者職氏名	理事長 小林 仁			設立年月日	平成3年3月28日		
資本金・基本財産	200,000 千円		市の出捐額(割合)	200,000 千円		(100.0%)	
設立目的	仙台市民一人一人が心豊かに健康で共に生きる社会(豊齢化社会)の実現に向けた生きがい・健康づくりの支援、介護知識の普及等を行い、もって市民福祉の向上を図ること。						
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 市民の健康福祉意識の醸成及び啓発 市民の生きがい及び健康づくりの支援 高齢者等の介護に関する研修 仙台市等から委託を受けて行う要介護認定等に係る認定調査 仙台市からの指定を受けて行う「仙台市シルバーセンター」及び「仙台市健康増進センター」の管理運営 						
評価対象決算期	令和4年4月1日～令和5年3月31日						

◆人員等の状況

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①常勤役員数	2 人	2 人	2 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
②常勤役員平均年齢	62.5 歳	63.5 歳	63.0 歳
③常勤役員平均年間報酬	5,174 千円	5,132 千円	5,687 千円
④職員数	139 人	138 人	137 人
うち市派遣	0 人	0 人	0 人
市退職者	2 人	2 人	2 人
⑤職員平均年齢	49.2 歳	50.4 歳	50.7 歳
⑥職員平均年間給与	3,966 千円	3,937 千円	3,949 千円

◆主要財務データ

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①当期経常増減額	△ 1,491 千円	△ 1,020 千円	△ 3,241 千円
②当期経常外増減額	0 千円	0 千円	0 千円
③当期一般正味財産増減額	△ 1,823 千円	△ 1,242 千円	△ 3,571 千円
④一般正味財産期末残高	5,121 千円	3,878 千円	307 千円
⑤指定正味財産期末残高	200,000 千円	200,000 千円	200,000 千円
⑥正味財産期末残高	205,121 千円	203,878 千円	200,307 千円
⑦長期借入金残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆市の財政的関与

	令和2年度	令和3年度	令和4年度
①市からの補助金	177,094 千円	174,943 千円	178,996 千円
②市からの委託料(指定管理料含む)	856,279 千円	871,433 千円	866,368 千円
③市に対する収入依存度	99.43 %	99.32 %	98.99 %
④市からの借入金	0 千円	0 千円	0 千円
⑤市からの債務保証に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円
⑥市からの損失補償に係る債務残高	0 千円	0 千円	0 千円

◆主要事業一覧及び概要

事業名	事業概要	令和4年度事業費
訪問調査受託事業	仙台市及び他市町村から委託を受けて行う要介護認定及び障害支援区分認定のための訪問調査	382,967 千円
健康増進センター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、生活習慣病予防・障害者の健康づくり・介護予防等の事業	208,441 千円
シルバーセンター管理運営事業	施設・設備等の管理及び運営、使用料の徴収、広報、総合相談等	216,269 千円
いきがい健康づくり事業	豊齢化社会づくりの柱である、市民の生きがいづくり、健康づくりを支援するための各種事業	130,864 千円
介護研修管理運営事業	市民及び介護職を対象とした介護研修、福祉用具の展示、介護・福祉用具等に関する相談及び情報提供	46,297 千円

◆経営評価の総括

項目	外郭団体による総括	所管局によるコメント
1. 公益的使命・市が期待する役割への対応	地域や社会における活動の担い手として高齢者の役割への期待が高まる中、せんだい豊齢学園事業をはじめ、社会貢献活動を担う人材の育成と相互交流の場の提供、社会参加の促進等に資する取り組みを重点に事業を行った。また、認知症に関する正しい知識の啓発や家庭や地域での介護力の強化を図るため各種介護講座の充実に努めた。このほか、介護予防・認知機能低下予防のための高齢者運動教室の開催、生活習慣病の予防・改善、障害者の健康づくり、要介護認定等訪問調査を引き続き実施した。また、シルバーセンター及び健康増進センターの大規模改修工事を控え、他関係機関と連携したアウトリーチ事業を仙台市と協力して実施した。仙台市の施策に的確に対応し、公益財団法人として市民のニーズに応える事業を展開している。	昨年度に引き続き、インターネットを活用した地域社会貢献活動の担い手となる高齢者の人材育成や介護予防・認知症機能低下予防のための事業等に取り組み、また継続的な情報発信として福祉用具の紹介など、仙台市の施策や市民ニーズを意識した事業展開を行っており、今後、大規模改修工事後の事業展開を見据えその公益的使命を果たしていただきたい。
2. 業務・組織管理	事業団独自のコンプライアンス行動規範集の活用、自己点検や研修を通じて職員の倫理及び服務規律の確保を引き続き行った。また、事業の相乗効果への期待や、大規模改修期間中の事業展開を見据え、他機関との協働事業に関する職員研修を実施した。期央に実施する事業・予算の進捗・執行状況の確認、及び人事評価制度による適正な人事管理と効果的な人材育成を行い、事業の確実な実施と環境の変化に柔軟に対応できる組織体制の向上に努めた。	独自のコンプライアンス行動規範集や自己点検・研修等の取り組みが図られており、法令順守・不正防止体制が整備されている。今後、さらなる人事管理と効果的な人材育成を行い、大規模改修期間中で通常事業をいづらいう状況でも、組織の活性化と効率化に引き続き取り組まれない。
3. 財務状況	適正な受益者負担を図るため、自主事業の講座受講料を所要経費に応じた水準に設定し、事業収入の確保に努めた。仙台市からの補助金、委託料が収入の大部分を占める状況に変わりはないが、今後とも計画的・効率的な予算の執行に努めて参りたい。	財務状況について、本市からの委託料及び補助金が収入の大部分を占めているが、経営安定化や利用者に適正な応益負担を求めるなど財務基盤の強化に取り組まれない。
4. 今後の方向性及び課題	仙台市の高齢者人口が増加傾向にある中で、市民の生きがいづくり支援や社会参加促進、市民の健康づくり支援や介護予防等、事業団の取り組む事業への期待が高まっており、提供する事業内容についてより一層の充実に努めていくことが求められている。 事業団を取り巻く現状と課題、ならびに各事業における取組の方向性をまとめた中期事業計画（R5年度～R9年度）を策定し、年度ごとの実施状況を把握し検証を行いながら、計画に基づく着実な事業の推進を図る。新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、アフター・コロナを視野に入れ、必要に応じて事業の見直しを行うなど、社会情勢や市民のニーズに柔軟に対応した事業運営に努めていく。	新型コロナウイルス感染症が5類移行されたことを受けた通常事業の再活性化に加え、アウトリーチなどの地域や民間事業者と連携する新しい取り組みについては継続的に行っていただきたい。 また、高齢者保健福祉計画等の施策や当該団体における中長期計画に沿った取り組みのほか、より一層市民のニーズに合わせた事業運営について取り組んでいただきたい。